

## ◇編集後記◇

2年半を過ぎた東日本大震災, この時1000年に一度といわれる“未曾有の大災害”という表現が用いられました。復興には今なお多くの課題が残されています。今年の日本の夏は100年に一度,あるいは1000年に一度という記録的な猛暑の厳しい気象状況でした。一部でゲリラ豪雨, 一方では干ばつ, と2極化の気象現象が見られました。さらに竜巻・雹, 干ばつによる山火事まで, これらの異常気象は日本のみならず, 世界各地で観測されています。海水温の上昇による海の生物, 生態系への影響, 地上では農作物や果物, 昆虫はじめ様々な生物, 生態系への影響, ひいては地球規模での経済影響にまで及んでいます。このような異常気象をもたらした原因は, 紛れもなく意図しない人為的人間の生活の営みであり, 人類が辿った進歩発展のつけが, 廻りまわって最終的に地球の温暖化・環境破壊へと繋がっていることは周知のことです。

私たちが暮らすこの地球の気候は自然現象であり, 人

工的に操作することは不可能とされておりますが, 長い一長い一年月をかけ, 人間の生活の営み, 人間が作り出した副産物によって, 地球の環境破壊が進み, 今日の異常気象が起こっていることを考えれば, 人工的操作ではないにしても, 人為的要素が関連していることは容易に推察できます。

某局 ETV 特集でスーパープレゼンテーションという番組に登場したプレゼンター, ダン・バーバー氏は, 人と密接に関わる対象(食べ物, 魚など含め)が健康な社会に生きていなければ人間の自己破壊に繋がると……. 生態系ネットワークを維持し, 自然と共生する道を選択しなければならないというようなことを言っていたと思います。今のまま突き進んでいった先に何が待っているのか。人間の側に立った進歩発展の歩みを今一度問い直し, 発想の転換を求められているのではないのでしょうか。

(西田和子)

## 「産業衛生学雑誌」編集委員会

委員長：笹島 茂 (三重大)

副委員長：樺田尚樹 (国立保健医療科学院), 杉森裕樹 (大東文化大), 高尾総司 (岡山大),  
武林 亨 (慶應大), 玉腰暁子 (北海道大), 那須民江 (中部大), 西田和子 (久留米大),  
平工雄介 (三重大), 藤野善久 (産業医大), 八谷 寛 (藤田保健衛生大)

編集委員：石竹達也 (久留米大), 井上和男 (帝京大), 植嶋一宗 (津保健福祉事務所),  
小笹晃太郎 (放射線影響研), 萱場一則 (埼玉県立大), 川口陽子 (東京医歯大), 熊谷信二 (産業医大),  
黒沢洋一 (鳥取大), 近藤尚己 (東京大), 酒井一博 (労働科学研), 佐々木美奈子 (東京医療保健大),  
菅沼成文 (高知大), 田中昭代 (九州大), 土井由利子 (国立保健医療科学院), 中尾陸宏 (帝京大),  
中村裕之 (金沢大), 馬場園明 (九州大), 原田浩二 (京都大), 福島哲仁 (福島県立医大),  
堀口兵剛 (秋田大), 丸山総一郎 (神戸親和女子大), 三木明子 (筑波大), 三宅達郎 (大阪歯大),  
村田勝敬 (秋田大), 毛利一平 (三重大), 大和 浩 (産業医大), 吉田貴彦 (旭川医大),  
渡邊博且 (産業医大)

客員編集委員：梅津美香 (岐阜県立看護大), 田中紀子 (国立国際医療研究センター), 中田光紀 (産業医大),  
東 尚弘 (東京大), 八幡勝也 (産業医大)

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目29番地8 公衆衛生ビル4階  
電話 03-3356-1536 ファックス 03-5362-3746 振替 東京 00100-7-133495 番